

壱岐の島名所旧跡めぐり

大陸と日本本土の間、玄界灘に浮かぶ壱岐の島は、東西 15km、南北 17km のまるい平坦な島。ここには神々がすみ森と黒潮がはこんでくる豊かな海、そしてひとびとが慈しめ育てる大地がある。

SPOT 04 壱岐風土記の丘 古墳館・古民家園
歴史散策公園。園内には壱岐にあった江戸時代の百姓武家の民家を移築した古民家園や国史跡「壱岐古墳群」を紹介した古墳館の展示を見ることができる。

SPOT 07 鬼の足跡
壱岐を代表する景観で、地元では、大鬼のデイが鯨をすくい捕るために踏ん張ってきた足跡で「鬼の足跡」と呼ばれている。



04

SPOT 05 ツインズビーチ
塩樽（しおたる）海水浴場と小水浜（こみずはま）海水浴場を合わせてツインズビーチと呼ぶ。小さな入江にある美しい砂浜の海水浴場。

SPOT 08 辰ノ島
弓状の浜辺は遠浅の白い砂浜で美しく、観光客には人気が高い。海浜植物群落や蛇ヶ谷など見所も多い。



06

SPOT 06 清石浜（くよしはま）海水浴場
芦辺港の南東に広がる約 500m の美しい砂浜が清石浜である。シーズンオフにはサーフィンやパドウォッチング、ビーチコーミングなども楽しめる。

SPOT 09 岳ノ辻
標高 212.8m。壱岐島で一番高い山。約 20 万年前、玄武岩溶岩流の上に噴出した火砕屑物によって形成された火山砕屑丘（かざんさいせつきゅう）。



07

SPOT 10 男嶽（おんだけ）神社の石猿群
猿田彦命（さるたひのみこと）が祭神。拝殿横の石段には 200 体を超す石猿が並んでいる。

SPOT 14 住吉神社
祭神は底筒男神（そこつつおのみかみ）、中筒男神、表（うわ）筒男神、相殿に八千弋神（やちほこのかみ）で、明治 4 年、国幣中社に列格。



08

SPOT 11 筒城浜
海岸線の全長およそ 600m で壱岐を代表する海水浴場。白砂青松の美しい浜は、日本古来の自然美を残した海岸風景で絶景である。「日本の快水浴場 100 選」「日本の渚 100 選」に選ばれている。

SPOT 15 春一番の塔
1859（安政 6）年、春一番より地元の漁師 53 名が遭難した。昭和 62 年、郷ノ浦港入口の元居公園に、船の帆をイメージした「春一番の塔」が建てられた。



09

SPOT 12 蛇ヶ谷（じゃがたに）
勝本層の垂直節理が波によって浸食されて広がり、数 10m の断崖になっている。辰ノ島海水浴場とは対照的に、男性的でダイナミックな風景である。

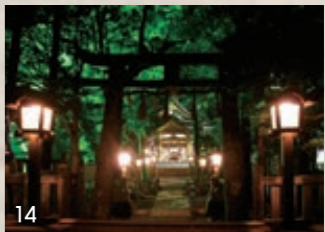
SPOT 16 壱岐国分寺跡（壱岐嶋分寺跡）
741 年に聖武天皇の命を受けてつくられた国分寺の跡。島につくられたことから「嶋分寺（とうぶんじ）」とも呼ばれた。現在は、礎石だけが残り平地になっている。



11

SPOT 13 勝本朝市
江戸時代に漁民、農民がそれぞれの産物を持ち寄り交換したのが始まり。現在でも毎朝採れたての海の幸、山の幸が所狭しと並べられ、地元の人はずもとより、観光客とも言葉交し合う風情がみられる。

SPOT 17 鬼の窟（いわや）古墳
6 世紀後半～7 世紀前半頃の築造。直径 45m、高さは 13m。内部は大きな玄武岩を幾つも積み上げた横穴式。



14



SPOT 01 壱岐市立一支部博物館
壱岐しごと博物館の拠点施設。壱岐に関する資料展示（常設展示）の他、年 4 回特別企画展を開催。展示以外にも国特別史跡原の辻（はるのつじ）遺跡を一望できる展望室やオープン収蔵庫や発掘資料の整理作業を見学できる観察路など展示似外の機能も充実。



SPOT 03 猿岩
黒崎半島のさらに先端にある高さ 45 m の海蝕崖（かいしょくがい）の玄武岩。そっぽを向いた猿にそっくりで、気紛れな自然の造形に驚かされる。壱岐島誕生の神話によると、「壱岐の国は生き島である。神様が海の中でこの島をお産みになったとき、流されてしまわないようにと 8 本の柱を立てて繋いだ。その柱は折れ残り、今も岩となって折柱（おればしら）といわれている」とある。その 8 本の柱のひとつが猿岩である。



SPOT 02 はるのつじ 原の辻遺跡
『魏志』倭人伝に記された「一支部」の王都。大規模な多重環濠集落で、長崎県で 2 番目に広い平野（深江田原）を中心に約 100 ヘクタールにも及ぶ。国特別史跡に指定。

SPOT 18 文永の役新城古戦場
千人塚の中央に元寇殉国忠魂塔が建ち、左脇には観音像、右脇に本来の千人塚の標石である自然石が 2 基ある。

SPOT 19 元寇の礎石（いかりいし）
左京鼻沖で発見された。中国製の石を使っているが、日本軍の船の礎石ではないかともいわれている。いまは少貳（しょうに）公園にある。花崗岩（かこうがん）製。

SPOT 20 壱岐芦辺風力発電所
年間平均風速 6 m/s 以上の風が吹く壱岐は、風の島。島の北岸に大陸からの海風を利用した風力発電所がある。

SPOT 21 左京鼻
海鷲（うみう）のおびたしいフンに覆われているが、遠目には武骨な玄武岩が化粧を施したように美しい。

SPOT 22 はらほげ地蔵
六地蔵は六道（地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天）において衆生の苦患を救うという六種の地蔵である。海女（あま）で有名な八幡浦の海中に祀られている。

SPOT 23 月読（つきよみ）神社
京都の月読神社は、487 年、壱岐の県主（あがたぬし）の先祖忍見宿禰（おしみのすくね）が壱岐から分霊したもので、ここが神道の発祥の地とされる。

SPOT 24 海上山桜
郷ノ浦町の半城湾では、春になると海面を覆うように桜が咲き誇る。海上から見る山桜は放情豊かで、人々の心に残る春の風物詩となっている。

SPOT 25 湯ノ本温泉郷
壱岐島北西岸、美しい島々に夕日が映える風光明媚な温泉郷。現在の源泉数 17ヶ所。泉温は 69℃、泉質はナトリウム塩化温泉。



21



23



26



28

SPOT 26 イルカパーク
海とつながっている入江でイルカを飼育しているふれあい施設。自然に近い状態でのびのびと元気に泳ぎ回るイルカたちを間近で見ることができる。

SPOT 27 掛木古墳
6 世紀末～7 世紀前半の築造。円墳で、墳丘の直径は約 30 m。県下で唯一の「くり抜き式冢形石棺」を持つ古墳として有名。

SPOT 28 松永安左工門記念館
「日本の電気王」・「電力の鬼」と称された松永安左工門の功績を伝えるために、生家跡に建設。生前愛用した所持品や文書などが展示されている。

SPOT 29 壱岐安国寺
後醍醐天皇の死を弔うために足利尊氏の命を受けて全国 66 国と 2 島に建立された安国寺。壱岐では元々あった「海印寺」を「安国寺」と改めた。県指定の史跡。

SPOT 30 勝本城跡
1591（天正 19）年、豊臣秀吉が朝鮮出兵にそなえて平戸藩主松浦鎮信（まつらしげのぶ）に命じて築城させたもの。海拔 78.9m の山頂部に築城。国指定の史跡。

SPOT 31 国津意加美（くにつおがみ）神社
境内の狛犬（玉含獅子・子抱獅子の一对）は壱岐の名工・山内利兵衛（やまうちりへい）の傑作といわれている。1862（文久 2）年に献納。利兵衛 63 歳の時の作。

SPOT 32 串山海水浴場
勝本港の東海岸にある。串山キャンプ場が隣接しているので、テントサイトからそのまま水着でビーチに直行できる。

SPOT 33 黒崎砲台跡
口径 41cm のカノン砲 2 門の砲台で砲身の長さ 18.83m、弾丸の重さ 1t、最大射程距離約 35km。一発も実弾を発射することがなかった。